

新・やまぐち国際化推進ビジョン概要

第1章 ビジョン策定の趣旨

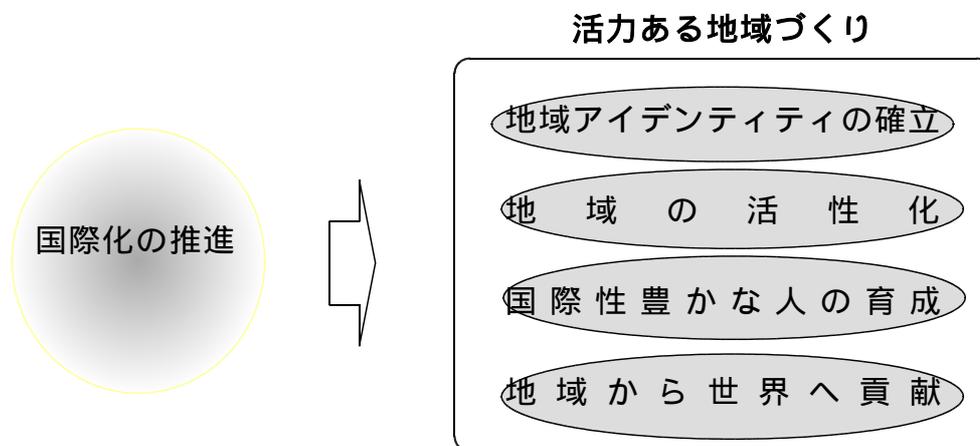
[策定目的] 国際環境や社会経済情勢の急速な変化に的確に対応し、本県の国際化推進の新たな目標と、その実現に向けた総合的な施策展開の方向を明らかにするため。

[性格] 「やまぐち未来デザイン21」の部門別計画

[計画期間] 平成15年度から平成22年度までの8年間

[計画の推進] 進捗状況を的確には握しながら、施策の適切な評価を行い、進行管理に努める。

第2章 国際化推進の意義



第3章 国際化の現状と課題

国際情勢 グローバル化の進展による国際関係の多様化、複雑化
地球規模の課題の顕在化

国内情勢 少子高齢化の進展や外国からの入国者数の増加
国内産業の空洞化や鉱物資源・食糧等の海外依存
ボランティア活動等への参加意識の高まり

本県における国際化の現状と課題

国際交流の多様化

- ・ 多彩な交流主体、交流分野・交流相手先の広がり
近隣アジア諸国との交流の方向性、新たな地域との交流の可能性
幅広い住民レベルでの交流、交流主体相互の連携・協力

経済のグローバル化

- ・ アジア地域を中心とした貿易、訪日外国人観光客の増加
国際化に対応した産業の振興や交通運輸基盤等の整備
外国人観光客や国際コンベンションの誘致

国際協力の重要性の高まり

- ・環境等の地球規模の課題の深刻化、NPO・NGO等の役割の増大
地域の特性を生かした取組み、NPO・NGO等の活動の環境整備

県民による国際活動の活発化

- ・県民や民間団体の自主的な活動の広がり
県民や団体のパワーが発揮されるようなシステムづくり
県国際交流協会の役割

地域社会における国際化の進展

- ・外国の文化等に触れる機会の増加、留学生等新規に来県する外国人の増加
国際化に対応した教育の推進、多文化と共生できる環境づくり

第4章 国際化推進の基本目標と基本方向

基本的な考え方

本ビジョンでは、これまで推進してきた「共生の精神、対等なパートナーシップ」に基づく施策展開を一層深化させていくとともに、新たに、「県民が主体的に国際交流・国際協力を推進すること」を基本理念として、山口県の国際化を推進することによって、「元気で存在感のある県づくり」に資する。

基本目標

県民がともに築く「国際元気県やまぐち」

本ビジョンの基本理念の新しい要素である「県民の主体的参加」を「県民がともに築く」で表した。



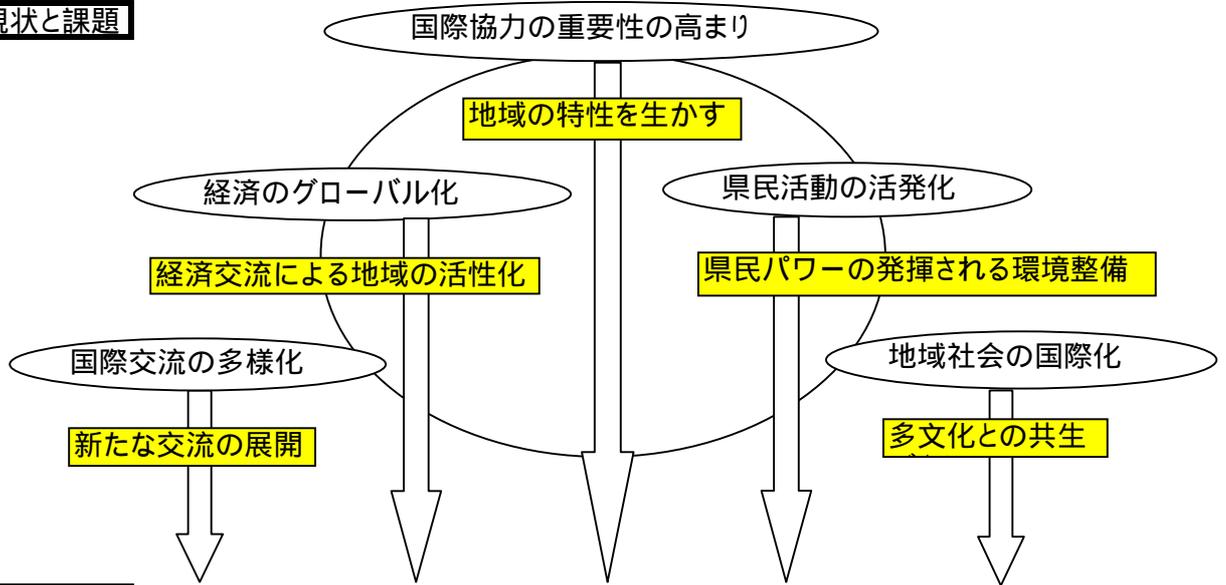
基本方向

国内外の動向を踏まえ、山口県の国際化の現状と課題を5つの視点で分析、整理した上で、国際化推進の施策展開の基本方向を5つの柱で体系づけを行っている。

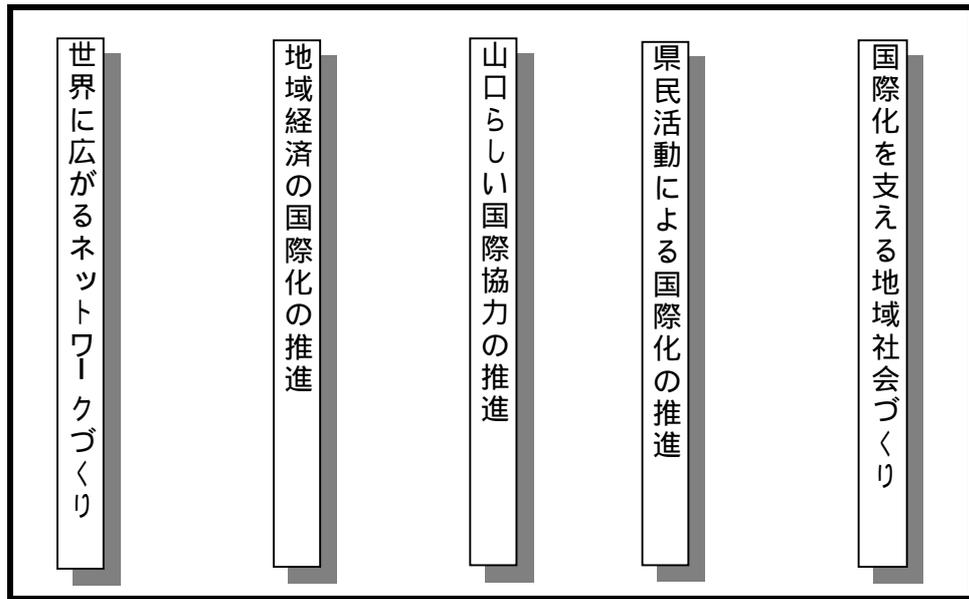
- 1 世界に広がるネットワークづくり
- 2 地域経済の国際化の推進
- 3 山口らしい国際協力の推進
- 4 県民活動による国際化の推進
- 5 国際化を支える地域社会づくり

[基本フレーム]

現状と課題



基本方向



基本目標

